



衛研ニュース

第18号

川崎市衛生研究所

平成24年2月発行

おもちゃの検査

おもちゃに有害物質が含まれていると、健康を損なう可能性があります。食品衛生法では、乳幼児が飲食物と同じように、なめたり、口に入れてしまう可能性のあるおもちゃを指定し、規制しています。おもちゃの種類や材料ごとに規格基準を設けていて、鉛やカドミウム等の重金属、過マンガン酸カリウム消費量、蒸発残留物、フタル酸エステル等の検査があります。



指定おもちゃとは？

- 1：乳幼児が口に接触することをその本質とするおもちゃ
(例) おしゃぶり、おもちゃのラッパ等
- 2：アクセサリーがん具、うつし絵、起き上がり、おめん、折り紙、がらがら、知育がん具、つみき、電話がん具、動物がん具、人形、粘土、乗物がん具、風船、ボール、ブロックがん具、ままごと用具

フタル酸エステルとは？

フタル酸エステルは主にポリ塩化ビニル (PVC) の可^{かそざい}塑剤として、プラスチックを軟らかくしたり、加工しやすくしたりするために使用されています。しかし、ラットやマウスに対し生殖機能に影響を及ぼすことが分かり、口に入れる可能性のある6歳以下を対象としたおもちゃを食品衛生法で規制しています。平成22年9月、おもちゃに使用する合成樹脂に係る規制が改正され、使用禁止となるフタル酸エステルの種類が2種類 (DEHP、DINP) から6種類 (DEHP、DINP、DBP、BBP、DNOP、DIDP) に増えました。環境検査室ではおもちゃより抽出した試験溶液をガスクロマトグラフ質量分析計 (GC/MS) で測定します。

おもちゃ中に含まれるフタル酸エステルを抽出します。



DEHP: フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)
 DINP: フタル酸ジイソノニル
 DBP: フタル酸ジ-n-ブチル
 BBP: フタル酸ベンジルブチル
 DNOP: フタル酸ジ-n-オクチル
 DIDP: フタル酸ジイソデシル



GC/MS で測定します。

ノロウイルスによる感染性胃腸炎について

ノロウイルスの感染ルート

ノロウイルスは手指や食品を介して経口から感染し、腸管で増殖するため、おう吐・下痢・腹痛などの胃腸炎症状を引き起こします。特に冬季に保育園や小学校、そして老人ホームなどの社会福祉施設での集団発生が多くみられ、吐物を気管に詰まらせて、誤嚥性肺炎により死亡ケースもあるため注意が必要です。



ノロウイルスの消毒について

ノロウイルスはアルコール消毒では死滅させることができません。もし、身近な人が感染した場合、吐物や糞便（特におむつ）は適切に処理しないと、そこから感染が拡大する 2 次感染が起こります。ノロウイルスの消毒には次亜塩素酸ナトリウム（家庭用塩素系漂白剤）が有効です。また、高温に弱いので、カーペットや布団などはスチームアイロン、布団乾燥機を使用することにより殺菌することができます。

ノロウイルスの検査について

衛生研究所では、飲食店、保育園および社会福祉施設で集団発生がみられた場合や医療機関から依頼があった場合に、糞便の PCR（遺伝子検査）を行っています。ノロウイルスには多くの遺伝子型があり、年によって流行する型に違いがあります。現在、DNA シークエンサーを用いて、ノロウイルスの塩基配列の違いを調査し、今後どのような遺伝子型が流行するのか研究を行っています。また、リアルタイム PCR を用いて高感度・迅速な検査を行い、予防医学に貢献するよう努力しています。



検査業務終了のお知らせ

検査業務の見直しに伴い、現在、市民、事業者の皆さまから受け付けている検査（検便検査、ぎょう虫検査、水質検査）について、平成 24 年 3 月 30 日をもって、受付を終了いたします。平成 24 年 4 月 1 日以降は他の検査機関で実施いただきますようお願いいたします。

なお、詳細については、衛生研究所および各保健所衛生課にお問い合わせくださいますよう、お願い致します。

★ 『衛研ニュース』のバックナンバーについて、下記 HP アドレスからご覧いただけます。

発行元 川崎市衛生研究所
〒210-0834 川崎市川崎区大島5-13-10
電話 044-244-4985 FAX 044-246-2606
メールアドレス 35eiken@city.kawasaki.jp
HPアドレス <http://www.city.kawasaki.jp/35/35eiken/main.html>



KAWASAKI CITY
川崎市